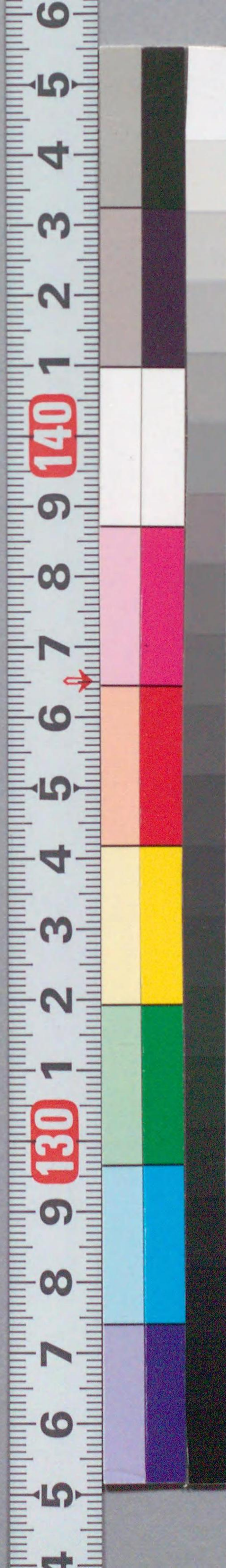




国立国会図書館 情競傾城嵩 6巻 207-914



ガラス使用

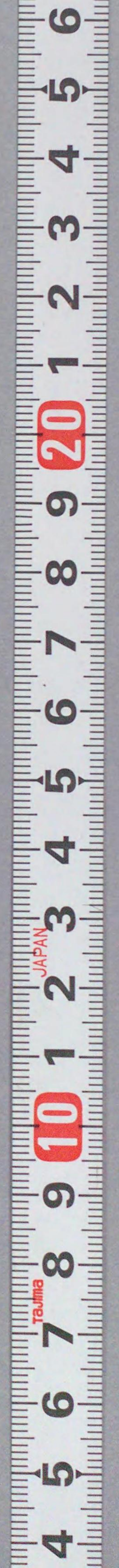


情競傾城嵩

前



111



古き本遊行女と記のるれ今世の遊び女も元何に寄て遊女遊女
 名ありや詩の漢の遊女在のれは是の因て号しやこれ古風
 今に残りて編む茶屋の編むを編む土ま馬と
 りの往昔はえむひの捨洞多し且家の通り洞又近世の作りを
 やるものも甚だしはれせうを庄へさるる唱ゆきめせうといふ
 まはうといふ誰えを誰せと呼ぶるやせうと唯古今もなるなりと
 いまの二道のまればの情状とかきつけて秀佳子爰小播州傾成
 嵩の古吏をのせて山城の女郎が測筑前の君畑も播広の舞子の
 濱もどまのなを里よのぐの古跡もんとあふ巴ア此一冊乃
 及古たえの捨るかきを籠へるも助けかき洗ひ橋で梳之る作者の
 業人氏への仲の町と云爾 わげや町よをく 五街遊人調布織



情競傾城嵩

坂東秀佳作
 哥川國安画
 丙戌春 仙雀堂販

編前



貞成書局



万葉集第九の歌

金かねのとあ

人のまをて六

夜中よなかつあをま身みを

たふたふままららんん

出いてあんん

右遊女みぎうぶめ

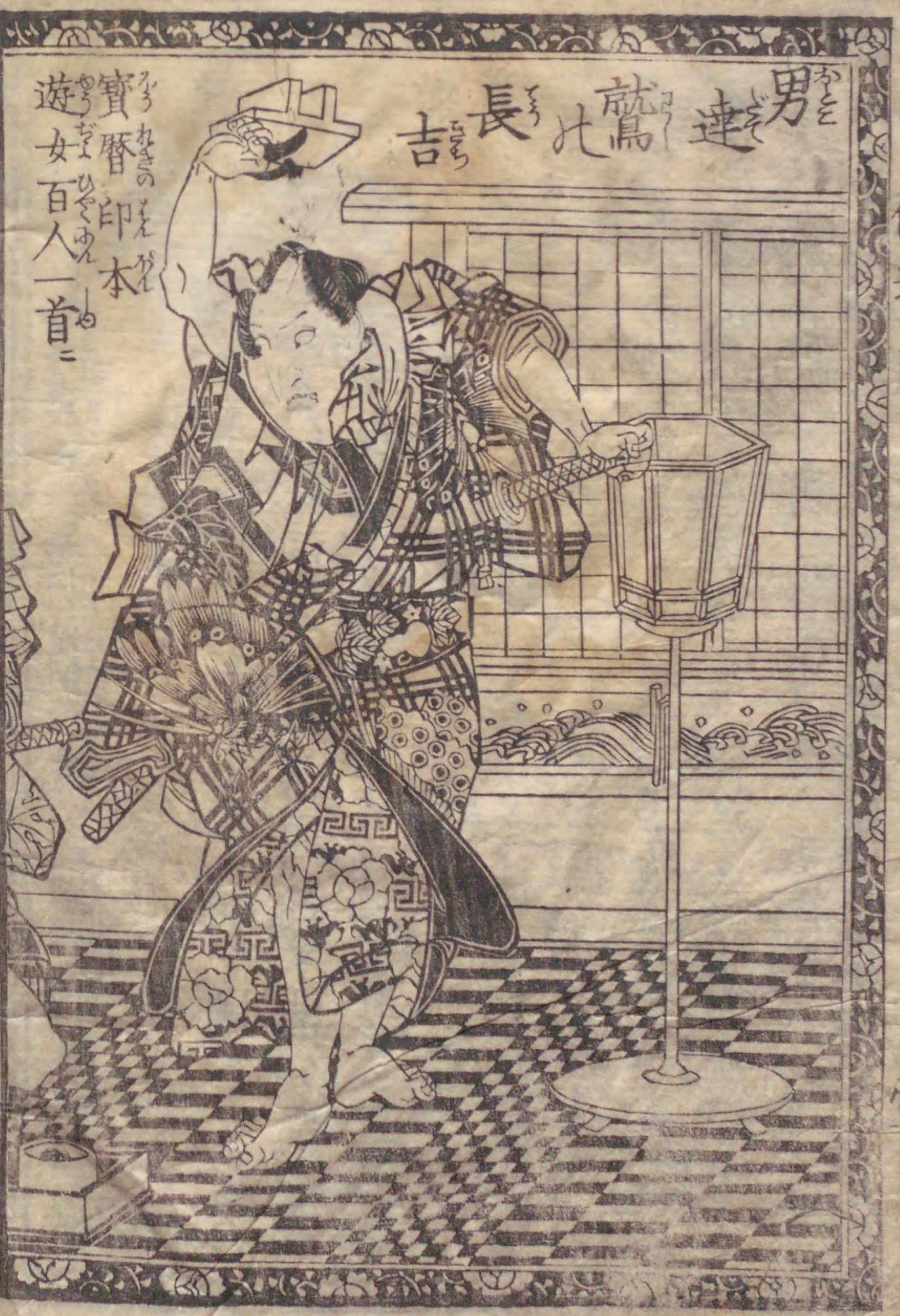
末の珠名すえのたまな

男連おとめん

笹岡ささおか

甚しん三さん

体屋



男おとこ

連めん

驚おどろ

此こゝ

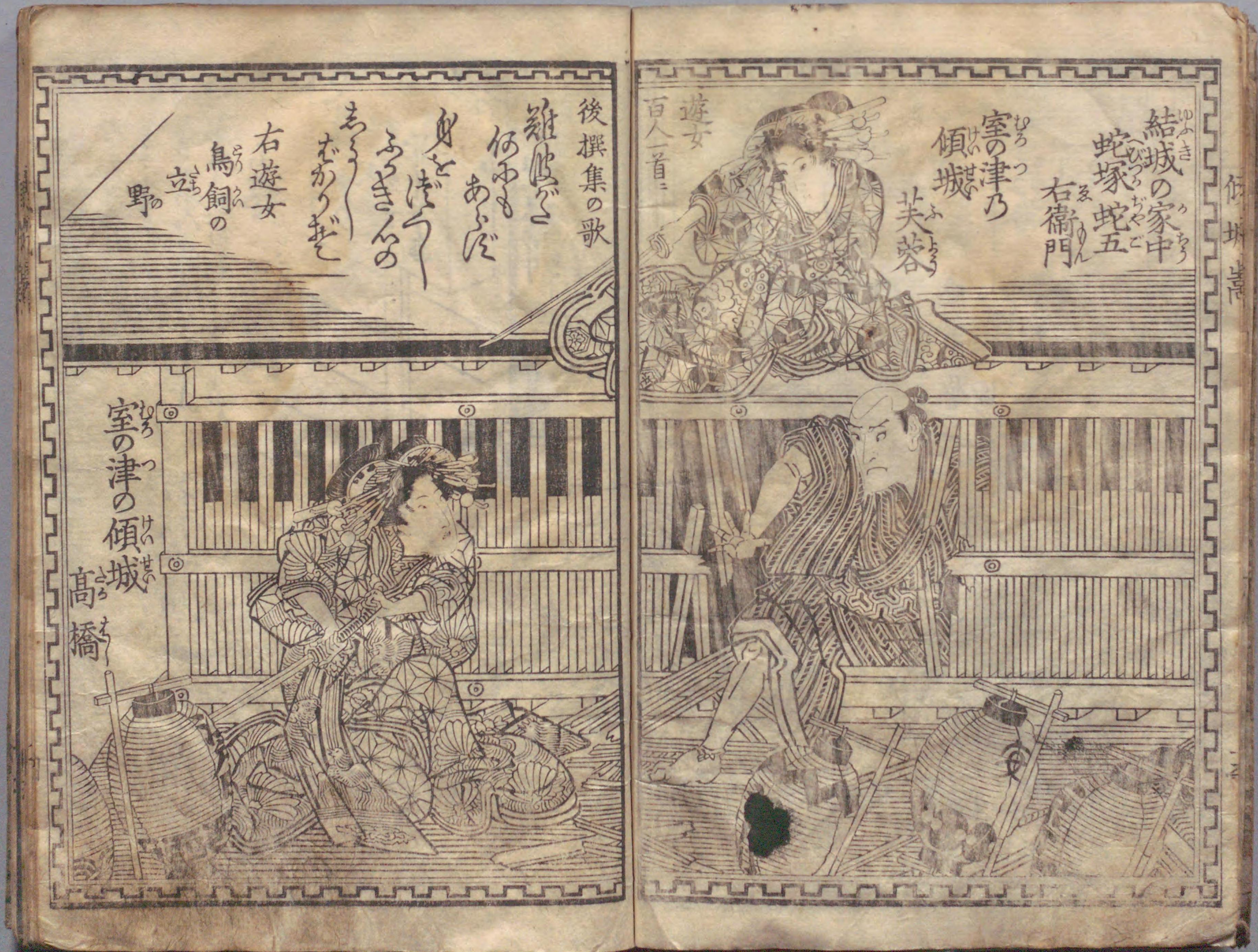
長なが

吉きち

寶曆印本ほりえきいんぼん
遊女百人一首うぶめひゃくにんいっしゆ











高城傾城之圖
 傾城が嵩のあつて雲の峰のけいせん
 まちをさすのゆふのあつたあつた
 ころころとあつたあつたあつた
 大まかであつたあつたあつた
 わるけりあつたあつたあつた
 えんがまはるあつたあつたあつた
 かつりたあつたあつたあつた
 あつたあつたあつたあつたあつた
 ざつたあつたあつたあつたあつた
 せうたあつたあつたあつたあつた
 あつたあつたあつたあつたあつた
 うたあつたあつたあつたあつたあつた
 りあつたあつたあつたあつたあつた
 ちあつたあつたあつたあつたあつた
 りあつたあつたあつたあつたあつた
 よあつたあつたあつたあつたあつた
 きあつたあつたあつたあつたあつた
 のあつたあつたあつたあつたあつた
 のあつたあつたあつたあつたあつた
 ちあつたあつたあつたあつたあつた
 ちあつたあつたあつたあつたあつた

高城傾城

二

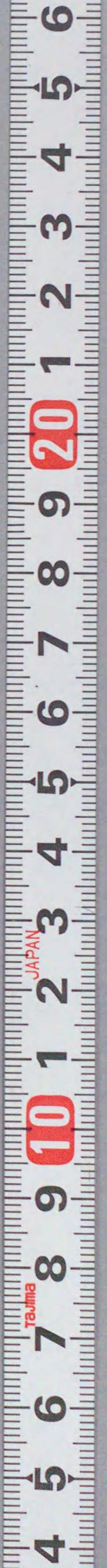


室の津の傾城高橋が
 新造高窓
 遊女百人一首
 中からあつた
 お那
 流れをさす
 みろ
 十人の世の
 十人のあつた
 右遊女
 手越の
 我の
 大平家
 物後あつた

同家
 芙蓉
 新造
 楓









還魂紙料

古画八二冊出果

柳亭種彦隨筆

十とく百年本名書きあり紙の研舞伎役者遊女の小供有儀
色を引用て考ぞ附し種々雅客の刀を寄書出のれど附ハ紙ハ其ハ川合

豪福塵劫記

全一冊

改正誘補はすひらうはて此一本こそ毎毎
の用もさるるこゝろ宛集術誌一の路もさる

懷中早割大全

小本一冊

ありあれ毎毎とひひ徳和を以てわや
すりを改中しこゝろ初筆のそやくたすふ
速するこゝろさるるちりちりの筆も出あり

新形染彩目

植花手引系

前編出果はあはれまゝのわたりやとあはれ
前北齋翁一筆後編刷刻あつた先生結よと云とせし一と云と

似顔早稽古

後編全二冊

十返舎九編あ編よのれさるあはれ
画のたはさるるちりちりやとあはれ
哥川豊国画もたはさるるちりちり

役者評判記

全三冊

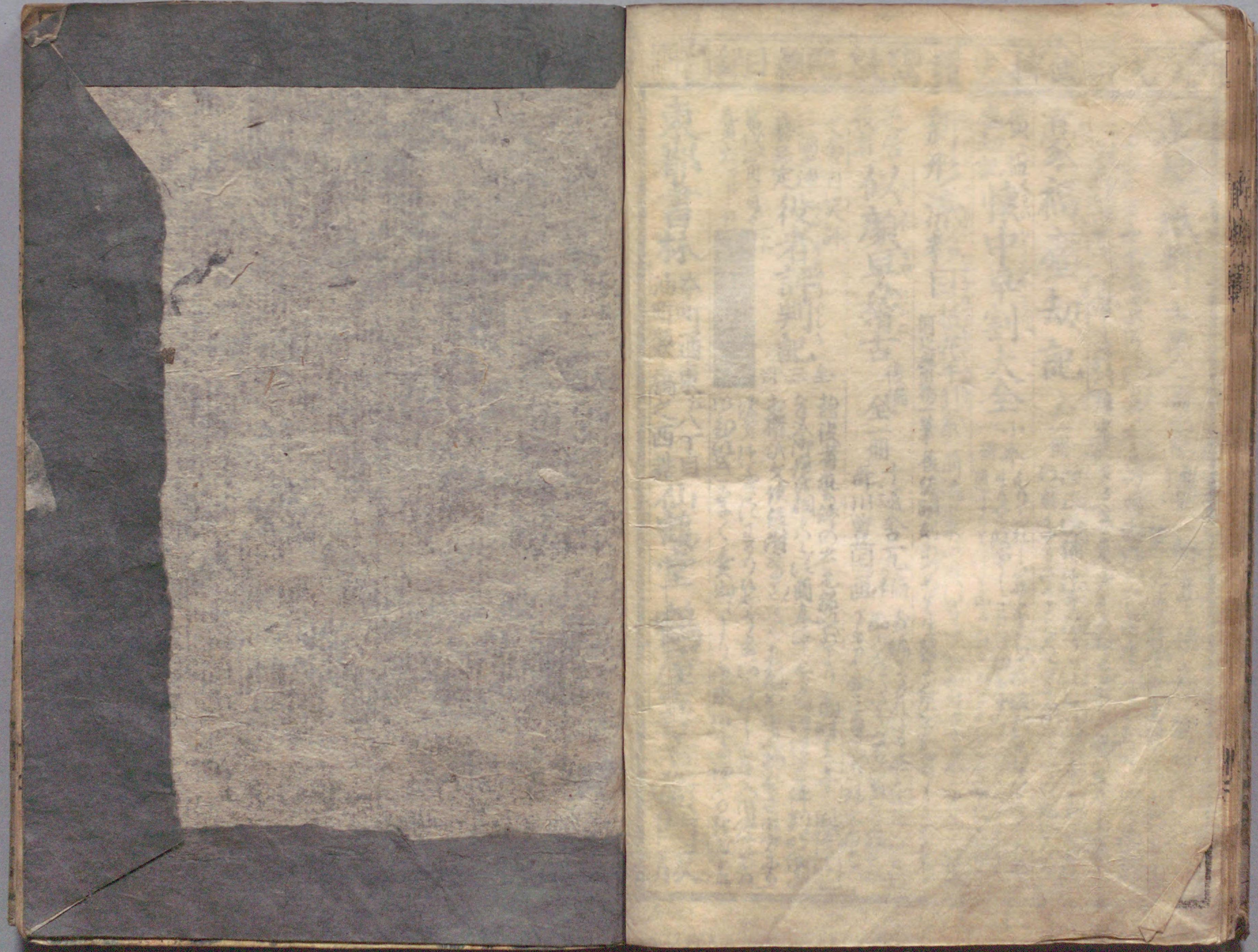
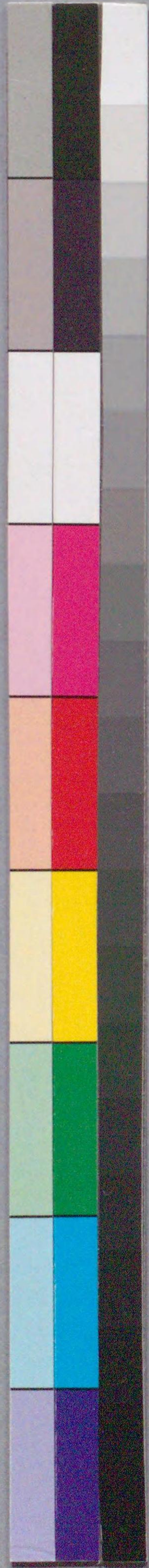
惣役者塵評の虫元海にあり尚阿と専、因板に
身入所後亦相うらひ酒亭中三の海程言評判細小
お辨ひ文後後附録とてくお返り山ん地をさるる方あも
次第はさるるちりちりさるるあはれさるるあはれ
山初ひささるる賣出しより山求山を海にのりあはれ

八文舎自笑評
三箇之津
藝品定
當成四月三日
賣出

東都書林

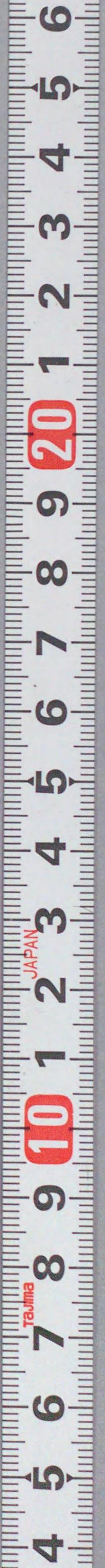
本町通東江八丁目
油町翠橋之西詰

仙鶴堂 鶴屋喜右衛門版



国立国会図書館 情競傾城嵩 6巻 207-914

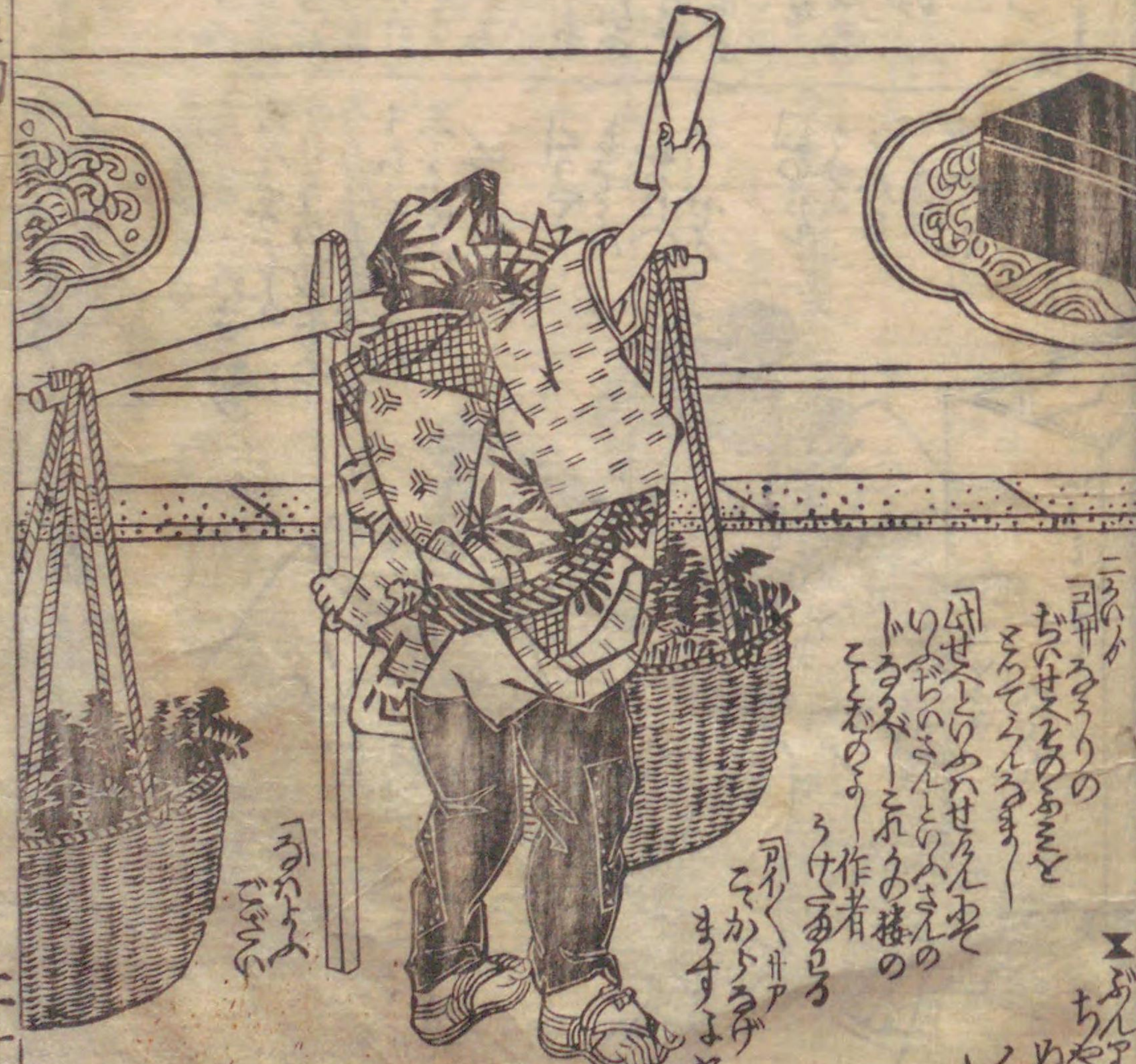
ガラス使用



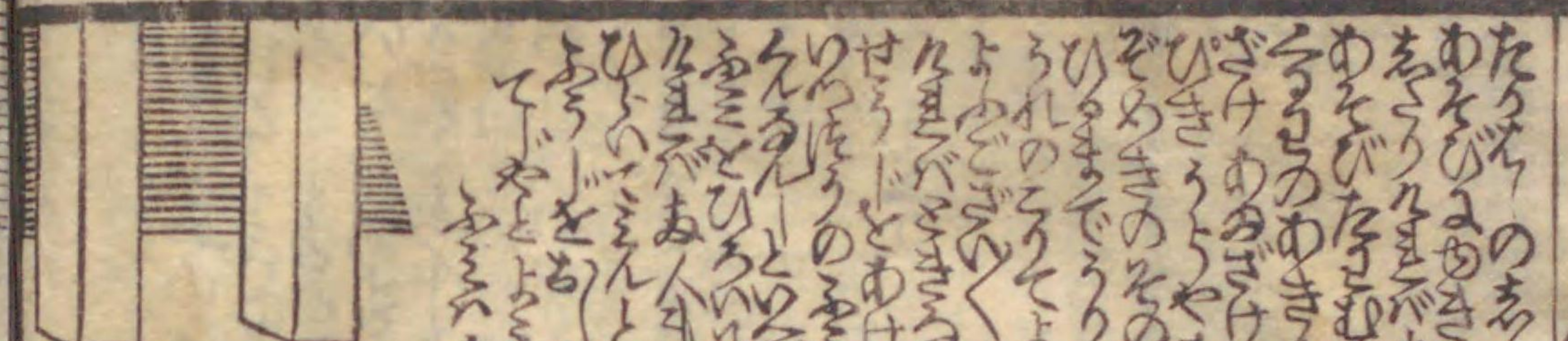
坂東亭五作
歌川國安画

通油町鶴屋喜右衛門





Handwritten text in the bottom left corner of the left page, including the name 'Mitsunobu' in a box.



Large block of handwritten text at the top of the right page, likely a poem or commentary.

Handwritten text in the bottom right corner of the right page.

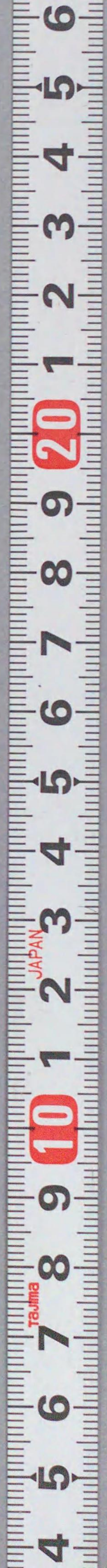






頂成高

七乙



207
914

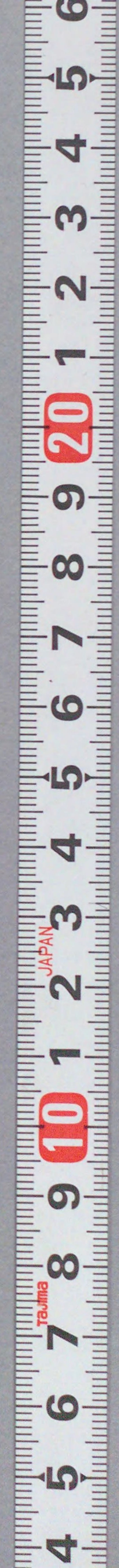
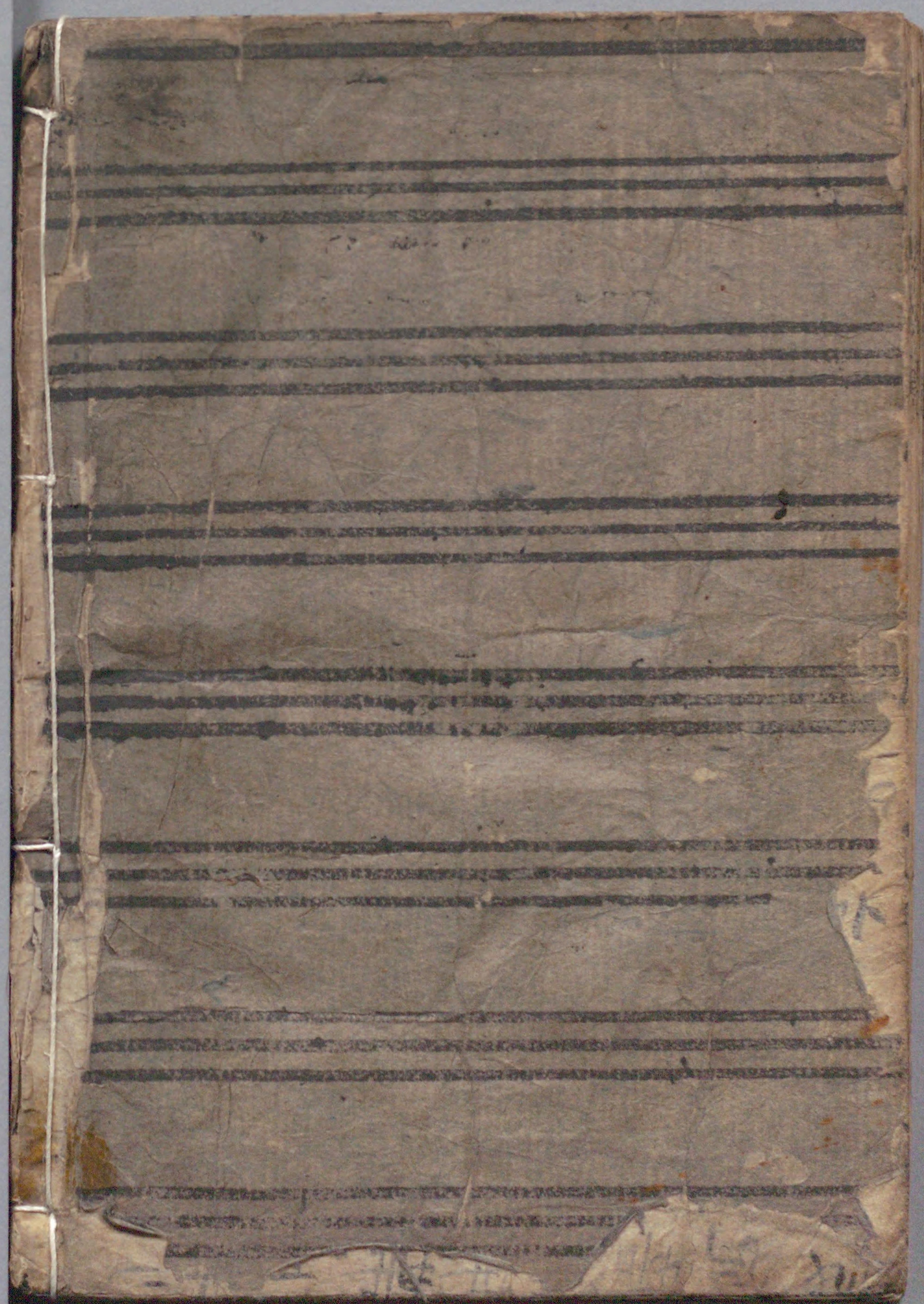
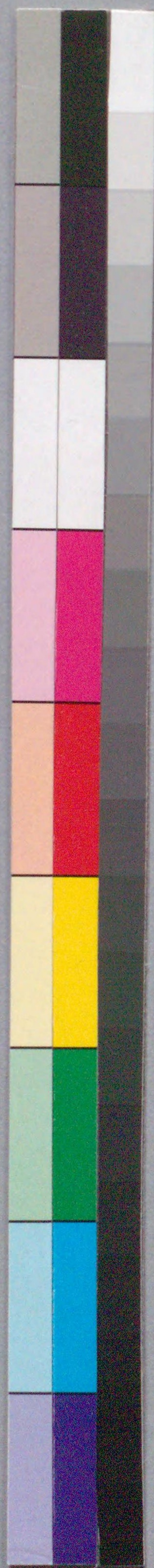
雁金紺屋作早染 柳亭彦作 全六冊 貞画	當世職人合 柳亭彦作 全六冊 貞画	美艷仙女香 世にゆらぐるの世のそよみ 坂本氏 全六冊 貞画	尾上松緑 尾上梅幸作 全六冊 貞画	百物語 尾上梅幸作 全六冊 貞画	絲櫻花本朝女訓 尾上梅幸作 全六冊 貞画	傾城水滸傳貳編 尾上梅幸作 全八冊 貞画	情競傾城嵩 坂東秀佳作 全六冊 貞画	福神御利生於釜返 南仙笑楚滿人作 全二冊 貞画	新選大長 尾上梅幸作 全二冊 貞画	仙鶴堂鶴屋喜右衛門板 江戸通油町翠十橋之西 毎松悉國板付り石鏡愛出れ 寛亨の上居りて川求ぬる腹はとんぬ 全六冊 貞画	草紙 式亭馬作 全六冊 貞画
------------------------------	----------------------------	-------------------------------------------	----------------------------	---------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-----------------------------	----------------------------------	----------------------------	---------------------------------------------------------------------------	-------------------------

國安画 坂東秀佳

右五折道人よりぬ述
東西く作者口上
一糸未りいりりぢんを坂東と
かぐさあそりりいりり外ル
ぬるぬるのそりりあひるらるる
は用ぬぬのせつつけられ外ル字
八百八丁のまをさうらまをまを
せりやうとやわげをまをまを
そのまをまを



華工
千形道友
引くま
せんま
けつこう
たうで
おそ
り外



国立国会図書館 情競傾城嵩 6巻 207-914

ガラス使用